

米国とイランの軍事衝突、ホルムズ海峡封鎖を受けて原油や原材料備蓄の重要性が改めて認識された。国内タンク專業大手の石井鐵工所では、原油や化学品タンクのメンテナンスの引き合いが増えているという。石井宏明社長に聞いた。

＊ ＊ ＊

▼…足元の事業動向はいかがですか。

「原油や化学品タンクのメンテナンスの引き合いが増えている。原材料不足に直面するエネルギー・化学産業の課題・ニーズに対し、ユーザーと一緒に取り組んでいきたい。また、海外では台湾や東南アジアを中心に石油化学製品タンクを展開



## 石井鐵工所

石井 宏明 社長に聞く

# 原油・化学タンクメンテ増

## LNGはサテライト需要

競合となつているが、何十年も漏洩事故のない実績が市場で高く評価されているようだ」

▼…新エネルギーへの取り組み状況はいかがですか。

「気候変動への

しているが、液化天然ガス(LNG)タンクの引き合いも出てきた。近年は中国のタンクメーカーが増え、韓国勢も強力な

対応に向けグリーントラストフォーメーションがこれからのトレンドになるはずが、電力需要の急増や政情不安でエネルギー

▼…LNG関連の需要はいかがですか。

「工場やショッピングセンターなどの大規模施設で石炭から天然ガスへ燃料転換する動きが加速している。受け入れ基地に設置する超大型タンクはすでに普及しているが、それとは別に、需要地に設置するサテライト用タンクの需要が新たに生まれている。当社への引き合いも増えており、この需要は今後5年は続きそうだ。」

▼…施工体制強化に向けた取り組みは。

「施工能力拡大に向けて採用を強化しているが、人材育成には時間がかかる。AI(人工知能)などを活用して効率良く進めていきたい。また、球形タンクにおける3次元溶接など高度技術の継承や、検査を含めた施工の自動化も課題であり、ロボットの活用などに取り組んでいる。将来のエネルギー転換に向けた施工能力拡充へ、業界再編も進むだろう。当社もさらなる施工能力の強化に努めるとともに、タンクメーカーとしての技術を深掘りするため、コアの溶接技術をはじめ周辺分野の技術を補完できる企業との連携も強化していく。」

▼…コンビナート再編が

事業に及ぼす影響は。

「設備を集約化して効率を上げていく流れにおいてタンク新設は減少傾向にあるが、一方で機能的な化学品などへの生産品目変更にもなうタンクの用途変更の引き合いは増えている。量の拡大だけでなく質の高度化に着目し、既存設備の高度化・長寿命化やレジリエンス強化、次世代エネルギー対応に貢献していきたい。また、ユーザーにおいてもプラント操業や保全の技術継承が課題となっており、建設や保全の計画段階からサポートしていきたい」

(聞き手＝石井淳子)